

『（仮称）第6次きさらづ障がい者プラン』素案の作成イメージについて

表紙

第6次

きさらづ

障がい者プラン

木更津市障害者計画
木更津市障害福祉計画
木更津市障害児福祉計画



令和6年3月



木更津市

『（仮称）第6次きさらづ障がい者プラン』素案の作成イメージについて

第2章 障がいのある人を取り巻く現状

1 市の地勢

木更津市（以下「本市」という。）は、東京都心部から直線距離で30～40km、県庁所在地である千葉市から南西約30kmに位置している。千葉県の中央西部、東京湾に面しており、東京都心からの移動距離は、東京湾北東側を周回した場合は70～80km程度、東京湾アクアラインを利用した場合は45km程度となります。

市域は、東西に長く、東部には上総丘陵が広がり、西部には中心市街地が位置する湾岸低地と埋立地が形成されており、特に高い山はなく、最も高い場所でも標高200m未満となります。

市内には、東京湾に向かって小櫃川、矢那川、烏田川及び畑沢川が流れています。小櫃川は、県内で利根川に次いで県内で2番目に長い総延長88kmの河川で、市内では東部から北部にかけて流れ下り東京湾へと注いでおり、小櫃川河口付近には、東京湾に広がる約1,400haの盤州干潟が形成されています。

面積は138.90km²で、人口（令和5年9月1日現在）は136,453人である。東京湾や森林など豊かな自然に囲まれ良好な居住環境を有していることに加え、東京湾アクアライン、東関東自動車道館山線及び首都圏中央連絡自動車道などの幹線道路が重なる交通結節点として利便性が高いことから、千葉県の新たな西の玄関口として重要な役割を担っています。



『（仮称）第6次きさらづ障がい者プラン』素案の作成イメージについて

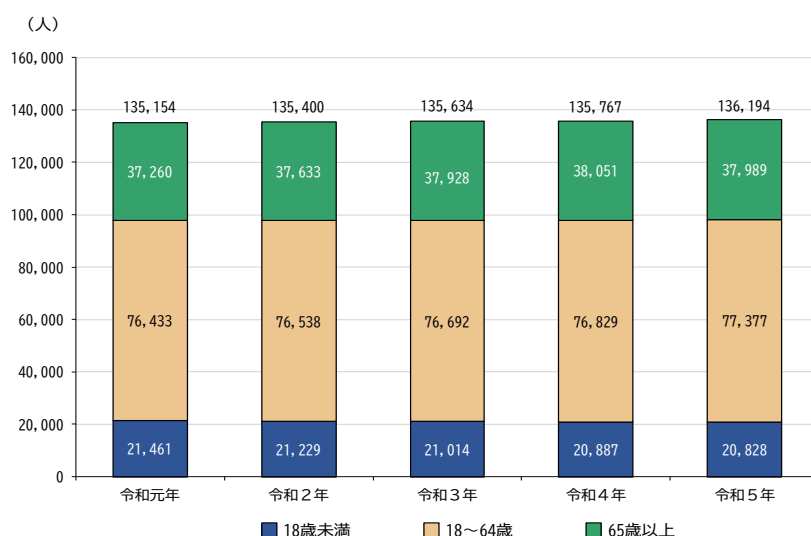
2 人口・世帯数の動向

(1) 人口の推移

本市の総人口は、令和5年4月1日現在136,194人で一貫して増加傾向で推移しています。

年齢別の人口をみると、18歳未満は減少し、18歳～64歳では増加傾向にあります。65歳以上の人口は令和4年までは増加傾向にありましたが、令和5年では減少しています。このことから、少子化の傾向がうかがえます。

■総人口と年齢別人口の推移（各年4月1日現在）



(2) 世帯数・平均世帯人員の推移

本市の世帯数は、令和5年4月1日現在65,157世帯で、人口の増加と同様に世帯数も一貫して増加傾向で推移しています。

一方で、平均世帯人員をみると、令和元年の2.19人から、令和5年には2.09人へと減少しており、核家族化の進行がうかがえます。

■世帯数と平均世帯人員の推移（各年4月1日現在）



『（仮称）第6次きさらづ障がい者プラン』素案の作成イメージについて

裏表紙

